

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

活動内容として、ESDにおいて本校がこれまで取り組んできた実践に照らし合わせ、「仲間づくり」「平和」「文化の多様性」「基本的人権の尊重」の4つのテーマについて報告します。

1 「仲間づくり」では、自尊感情を高め、自分を大切にしようとする態度を養い、他者とのコミュニケーションに積極的に取り組もうとする力を育てることを目標としています。ここでは、4年生・6年生の取り組みを報告します。

〈4年生〉

『私メッセージ』～みんなでハッピーになろう～では、子どもたちが自分の気持ちに向き合い、相手のことを考えながら伝える方法を知ることで、よりよい人間関係を築いていけるように取り組んだ。問題解決のために「私メッセージ」で思いを伝え合う場面をロールプレイすることで、子どもたちは、相手を責めてばかりでは解決しないこと、「私」を主語にすれば自分の正直な気持ちを伝えることができ、互いの気持ちや事情を理解しあえることに気づくことができた。今後も一人ひとりが問題を自分の事としてとらえ、自分の気持ちと友だちの気持ちにじっくりと向き合いながら、自分たちで解決できるようにしていきたい。

〈6年生〉

「命の授業」の学習では、自分の命は親、先祖からもらった大切にかけがえない命であり、命を大切にする学習から、友だちの命にも目を向け、友だちとの絆をより深めることができるように、自分たちが残りの生活をどのように過ごしていきたいか、また、自分たちが主体となり何か取り組みたいことはないかを考えさせることができた。

2 「平和」では、世界で起きていること、自分たちの身の回りで起きていることに関心を持ち自らの考えをもって、課題の解決に向けて積極的に行動しようとする態度を育てることを目標としています。ここでは、2年生・3年生の取り組みを報告します。

〈2年生〉

6・7の取り組みとして「さようなら カバくん」の学習を行った。空襲で爆弾が落とされるシーンや火の海に人が巻き込まれ、たくさんの人がなくなっていく様子を息をのみながら見ていた。そして戦争によって人だけでなく、全く関係のない動物たちまでもが殺されていく恐ろしさを知った。学習後の感想から「せんそうにかんけいのないどうぶつをころすというのがこわかったです。」「にんげんがおこしたことなのにどうぶつもまきこまれてかなしいです。」「たいせつなひとがしんでしまうせんそうはいちばんわるいと思いました。」という感想が出た。児童はこの学習を通して、戦争の恐ろしさと

平和の大切さを考えることができた。

また大型絵本「大さかだいくうしゅう」を読み聞かせ、自分たちの身近な地域で空襲の被害があったことを知り、さらに戦争の恐ろしさと平和の大切さを確認することができた。

〈3年生〉

6. 7の取り組みでは、「平和について考えよう」の学習をした。大阪大空襲の絵本や二頭のロバなどの教材を通して、戦争に対する理解を深めた。千人塚の見学では、千人塚の前で当時の様子を克明にお話していただき、児童はこの地で本当に戦争がおこり、たくさんの方が亡くなったことにショックを受け、改めて平和の尊さや戦争の残酷さを認識したようだ。さらに、自分たちにとって「平和ってなんだろう？」ということについて考え、今の自分にできることを考え行動にうつすように取り組んだ。

- 3 「文化の多様性」では、世界の様々な文化に興味をもち、人々の暮らしにちがいがあることを知るとともに、ちがいを認め尊重しようとする態度を育てることを目標にしています。ここでは、1年生の取り組みを報告します。

〈1年生〉

世界の人々の習慣や暮らしの多様性に気づく学習として、「あいさつ」「歯が抜けたときの習慣」を学び、子どもたちは、それぞれの国の「ちがい」や「共通点」を発見し、世界に対する興味を広げることができた。

「おとなりのくにのあそび」の学習では、身近な国の文化に親しむことを目的に、韓国・朝鮮の伝統的なあそびを体験した。チェギ、ペンイ、トゥホのコーナーを作り、それぞれを全員が体験した。また、タオルを2つ使って踊るタルチュム(民族舞踊)も体験することができた。ソンセンニムと一緒に遊びや踊りを体験したことで、韓国・朝鮮の文化に対する親しみを感じることができた活動にすることができた。

- 4 「基本的人権の尊重」では、持続可能な社会の実現をめざして、すべての人は等しく大切な存在であるということを理解し、ちがいを認め合いながら豊かな人間関係を育もうとする力を育てることを目標としています。ここでは、5年生の取り組みを報告します。

〈5年生〉

国語科の「和の文化を調べよう」の学習と関連付けて、太鼓づくりの学習を行ってきた。読本にんげん「ひと・つながり」の「職人の技」の学習や、太鼓作りのビデオを見ながら、太鼓の作り方や、太鼓づくりにかける職人の思いについて調べた。そして、実際に自分たちで革に穴を開けたり、太鼓の革を張ったりしながら太鼓づくりを行った。太鼓づくりを通して、友だちと協力しながら太鼓を完成させ、やりがいや達成感を感じたという児童が多く見受けられた。また、改めて職人の技の素晴らしさを感じることができた。

車いす体験学習では、「大阪市立心身障がい者リハビリセンター」の方に「車いす体験講習会」を行っていただいた。全員車いすの自走と、3人グループで

交代で押すことを行うことにより、車いすに乗っている人のことや、今の自分にできることを、しっかり考えることができた。

人権実践交流会で報告したように、「自分をみつめて、友だちをみつめて～集団で高める自尊感情～」をタイトルにかかげ、互いを認め、高め合える集団作りに努めてきていた。道徳の取り組みでは、「短所も長所」の学習で、自分や友達の悪いところを攻めてしまうことのないように、考え方を換えれば、長所となることから、人の受け取り方ひとつで、その人の良さにつながっていくことに気付いた。そこから、ひとりひとりの個性をたいせつにしていく気持ちを育てるようにしてきた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）